

平成30年度第8回登別市教育委員会会議録

日 時 平成30年11月29日（木）午後4時30分

場 所 登別中学校

第8回 教育委員会議事日程

1 日 時 平成30年11月29日(木) 午後4時30分

2 場 所 登別中学校

3 議 案

報告第 9号 市議会定例会提出議案に関する意見に係る臨時代理について

議案第11号 登別市学校給食センター運営委員会委員の委嘱について

議案第12号 登別市立学校学校医等表彰について

議案第13号 平成30年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査「北海道版結果報告書」への市町村別結果の掲載について

4 情報提供

1. 教育ふれあいウィーク実施状況について

2. 登別市キャリア教育懇談会・登別市キャリア教育実務担当者会議の報告について

3. 登別市幼保小中連携の現状について

4. 学校給食一食あたりの単価の状況について

5. 胆振図書館協議会研究集会公開講演会『ヨーロッパ公共図書館からの報告』について

5 出席者

(教育委員会5名)

教育長 武 田 博

委員 垣 内 登紀子

委員 森 口 達

委員 赤 井 秀 輝

委員 堅 田 裕

(事務局9名)

教育部長 佐藤史彦 教育部参与 野崎 均

教育部次長 橋場 太 総務グループ建築主幹 出口 利美

学校教育グループ総括主幹 館下貴子 学務主幹 小野島 晶

社会教育グループ総括主幹 安部直也 学校給食センター長 吉田富士夫

図書館長 綿貫 亨

○武田教育長　今回第8回の教育委員会は移動教育委員会ということで、登別中学校で開催します。先ほど教育活動の一環を見せていただきました。子どもたちが大変元気に活動している様子を見ましたので一安心しているところでございます。それでは、会議を開催したいと思います。本日の委員会は5名が出席をしておりますので有効に成立していることを報告いたします。これより平成30年度第8回教育委員会を開催します。本日の議事は報告1件、議案3件になります。早速議事に入りたいと思います。報告第9号市議会定例会提出議案に関する意見に係る臨時代理についてを議題といたします。事務局から説明をお願いします。

○橋場教育部次長　はい。議案書1ページをご覧ください。報告第9号は、平成30年第4回市議会定例会の提出議案であります平成30年度一般会計補正予算（第6号）について、登別市教育委員会教育長に対する事務委任規則第3条の規定に基づき臨時代理を行いましたので、その内容を報告し承認を求めるところでございます。5ページの歳出ですが、児童生徒スポーツ振興助成金になります。本助成金は市内の小中学校、高校、中等教育学校に通う児童・生徒、又は市内に居住する児童・生徒が、国際大会、全国大会、北海道大会に参加する場合の経費の一部を助成するものであります。当初予算は250万円を確保しておりましたが、9月までの実績において例年より約20件、60万円ほど多くなっておりまして、昨年は助成がありましたが今年度は申請がないものや昨年は10月以降の申請でありましたが今年度は9月までに申請があったものなどがありまして、結果として30万8千円の不足が見込まれましたので、同額を補正するものであります。これらの予算について、臨時代理を行いましたので、その内容を報告し承認を求めるところであります。以上です。

○武田教育長　ただ今報告第9号について説明がありましたけども、ご質疑ございませんか。

（「ありません」の声あり）

○武田教育長　それでは報告第9号については承認をすることとしてよろしいでしょうか。

（「はい」の声あり）

○武田教育長　それでは報告第9号は承認します。次に、議案第11号登別市学校給食センター運営委員会委員の委嘱についてを議題といたします。事務局から説明をお願いします。

○吉田学校給食センター長 はい。議案第11号は登別市学校給食センター運営委員会委員の委嘱についてでございます。学校給食センター運営委員会は、学校給食センター条例第5条の規定に基づきセンターの運営などについて、教育委員会の諮問に応ずるため教育委員会が委嘱をしております。その任期は2年となっており現委員の任期が平成30年11月30日を以って終了することから次期委員として記載の10名を委嘱したいので教育委員会の議決を求めるものです。10名の方の氏名、公職等につきましては記載のとおりです。なお、学識経験者4名につきましては全員再任、教育関係者6名につきましては全員新任となっております。以上ご審議くださいますようお願いいたします。

○武田教育長 ただ今議案第11号について説明がございました。ご質疑ございませんでしょうか。

(「ありません」の声あり)

○武田教育長 それでは議案第11号については承認することとしてよろしいでしょうか。

(「はい」の声あり)

○武田教育長 それでは議案第11号は承認します。次議案第12号登別市立学校学校医等表彰について事務局から説明をお願いします。

○館下学校教育グループ総括主幹 はい。議案第12号は登別市立学校学校医等表彰についてであります。議案書7ページになります。学校医、学校歯科医、学校薬剤師を対象にしております学校医等表彰について、規程に基づき表彰するものでありまして教育委員会の議決を求めるものであります。今年度の表彰は、学校歯科医の10年表彰お1人となっております。宝山堂中島薬局薬剤師の常磐井奈穂美氏は平成20年度より鷺別小学校、鷺別中学校の学校薬剤師として、平成23年度からは併せて若草小学校、富岸小学校の学校薬剤師としてご尽力いただいております。以上ご審議の程よろしく申し上げます。

○武田教育長 ただ今議案第12号について説明がございました。ご質疑ございませんでしょうか。

(「ありません」の声あり)

○武田教育長 それでは議案第12号については承認することとしてよろしいでしょうか。

(「はい」の声あり)

○**武田教育長** それでは議案第12号については承認します。次に議案第13号平成30年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査北海道版結果報告書への市町村別結果の掲載について事務局から説明をお願いします。

○**小野島学校教育グループ学務主幹** はい。議案第13号は平成30年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査北海道版結果報告書への市町村別結果の掲載についてお諮りするものです。議案8ページ及び別冊資料をご覧ください。本調査につきましては年内には国及び都道府県の結果公表、市町村別結果については1月上旬以降に公表されることになっているところではありますが、本市の結果について、道教委から別冊の12ページ、別添3より作成した資料を北海道版報告書へ掲載することに対し同意を求められております。国が定めた実施要領では11ページの別添2のとおり26年度から教育委員会や学校が保護者や地域住民に対して説明責任を果たすことの重要性が明記されそれに基づいて道教委は市町村教育委員会の同意を得た場合には市町村の調査結果及び分析結果、改善方策を報告書に掲載し公表することとしております。道教委ではきめ細かく分かりやすい調査結果を示したいとの考えから、来年2月を目途に公表を予定している北海道版結果報告書に市町村別の状況を明らかにした資料を掲載するため同意を求めてきたものであります。事務局としましては掲載方法が学校別の結果ではないこと。レーダーチャートの表示でどの種目に課題があるのか明確であること。また他市町村の調査結果や体力向上の取り組みを合わせて知ることによって今後の当市の取り組みの参考となると考えられることから全国学力・学習状況調査の時と同様に道教委作成資料の市町村別掲載に同意したいと考えております。委員の皆様方のご審議をお願いします。

○**武田教育長** ただ今議案第13号について説明がありました。ご質疑ございませんか。

○**垣内委員** 先ほどの説明で聞き漏らしたかもしれませんが、市町村別の結果ということで各学校が明確にならないような発表の仕方というふうに捉えてよろしいですか。

○**小野島主幹** はい。

○**垣内委員** はい。分かりました。この12ページとかを見ると生徒数が何名とかを見ると市としてトータルの人数とか、学校数とか、各学校の生徒数を掲載するわけではないですね。

○**小野島主幹** はい。

○垣内委員 はい。そうになってしまうと学校名が無くても推測されるかなと思いましたが、

で。

○武田教育長 そのほかございませんでしょうか。

(「ありません」の声あり)

○武田教育長 よろしいですか。それでは議案第13号については承認することとしてよろしいでしょうか。

(「はい」の声あり)

○武田教育長 それでは議案第13号については承認をいたします。以上で本日の議事はすべて終了いたしました。そのほか事務局から情報提供がございましたらお願いしたいと思えます。

【情報提供】

○野崎教育部参与 はい。それでは1ページをご覧いただければと思えます。今年度の教育ふれあいウィークを10月27日から11月10日まで行いました。一斉学校公開ですとか、特別支援学級の作品展とか、中学校の吹奏楽部の定期演奏会ですとか、様々な活動をこの時に合わせて市民の方々に見ていただき、登別の教育について考えていただく機会を創出しているところがございます。今年度学校を公開した両方の土曜日は天候があまりよくないところが続いておりましたが、保護者の方が1,301名、地域の方が104名、合計で1,405名の方が学校に来ていただきました。3ページにはここ何年か分の動きも掲載させていただいているところです。実際に学校で行った内容も少し紹介したいと思えて、学校が発行してます学校だよりを用意させていただきました。主なものというところで、例えば鷺別小学校では10月27日には1日防災学校という取り組みを行っておりますのであとでご覧になっていただければと思えます。又、2ページには、富岸小学校のコミュニティ通信ですけど、ご来校していただきましてありがとうございますという地域へのお礼、3ページは幌別西小学校のコミュニティだよりでふれあいデーに多くの方のご来校というところ、11月10日に行った携帯安全教室は、私どもも拝見しましたが、今まで中学生ですとか、小学校高学年に示していた内容をもう間に合わない、小学校3・4年生にもというような場面を見せていただいて、こういう取り組みはどんどん早い段階から取り組んでいかなければいけないということを確認させていただきました。4

ページは幌別中学校のコミスクだよりですが、右下の命の大切さを学ぶ授業をいうところで11月10日にご自身のお子さんを交通事故で亡くされた方を招いてお話を聞くという場面を創出するというところでございます。5・6ページは、先ほどの小林校長先生のお話ともダブるのですが、6ページにふれあいデーの取り組み、PTA会長ですとか、教頭先生の命に係わるお話の記事も載せておりますので、あとでご覧になっていただきたいと思っております。以上がふれあいウイークの情報提供でした。続きまして登別市キャリア教育懇談会の情報を提供したいと思っております。4ページをご覧ください。このページにはレジュメと出席者の名簿を載せています。昨年から市内には工学院があり、高校もある。この地域の中でキャリアアップしていけるいい環境にあるということを小学校や中学校の先生方も認識をして、共通の思いを持ちながらキャリアアップしていけるのではないだろうかというところで、昨年5ページに書いてあるメンバーの方に集まっていただいてスタートしました。そして、今年の2月に実際に実務に携わる教頭先生方に集まっていただきどんなことができるのかということ話し合っていたいただき、今年2年目を迎えて10月に再度集まっていただき、どうだったというところとこれからのどういうふうなことができるかというところを話し合っていたいただきというところでございます。6ページをご覧いただきたいと思っております。柴田校長先生からは小学校では緑陽中学校区の富岸小学校ですとか青葉小学校ではお互いがどんなことをやっているかということを理解しあいながらキャリア教育を行って、青葉の子どもたちも富岸の子どもたちも同じような形で教わったことを緑陽中学校で生かしてもらおうという発想で取り組んでいるという報告をいただきました。また、嶋原校長先生からは、鶯別中学校でキャリア教育を展開していますけども、その校区にある鶯別小学校ではどんなことをやっていて若草小学校ではどんなことをやってきている子どもたちなんだということを抑えてからキャリア教育を展開しています。こういうところから本市で進めている小中一貫教育も伺えるかと思っております。また、嶋原校長先生は1年生で工学院の職員を招いて職業に関する講演を今年は展開していますということで前年度つながりを持ったところを生かしながら実践につなげていただいているというお話でした。更に、登別青嶺高校の井上校長先生からは6ページの下の方に在校生は6割近くが登別市内で、進路担当が市内の中学校5校を回って、それぞれの中学校の卒業生が高校卒業後どういう進路についたかということを提供したり、高校で直接取り組んでいることを教員同士が高校の先生が中学校の先生に伝えてつながりを強くするという取り組みを今年し

ていただいたという報告を受けております。7ページ、工学院の加藤校長先生からはいろいろ小中学校の体験学習を受け入れています。協力しますというところをいただいているところがございます。引き続き地域に貢献できる人材の育成を小・中・高・専門学校がつながって人材育成をしたいという確認をしております。11ページはそのお話を受けて教頭先生方に集まっていたいて話をした中身も載せています。プログラミング教育のことですとか、校種間の連携ですとか、具体的なことを話し合ってもう一步進んだ展開をとということでこのような懇談を行ったということをご承知いただければということで情報提供いたしました。以上でございます。

○小野島主幹 はい。資料は15ページ・16ページをご覧ください。平成30年度の登別市幼保・小・中連携協議会に係るこれまでの取り組みについて情報提供いたします。今年度の本協議会の取り組みをもとに子どもたちの円滑で質の高い学校間接続の実現に向けて精力的に取り組んでおります。15ページの資料を6月の校長会にお示しをしまして、これをもとに今年度の取り組みを進めております。関係者による2回目の協議会、資料でいきますと2番、今後のおおよそのスケジュールですが、②のところを8月に開催しまして、過日6日には幼保・小間で2回目の協議会を実施しました。これが④のところです。例年、ここでは小学校1年生の担任、幼稚園保育所の年長児の担任を中心とした実務者による実態交流を行っておりますが、今年度は職員合同研修と位置付けまして行っております。具体的には日常のエピソードを持ち寄り小グループで対話的に進められるようにしたことで相互理解につながる一層踏み込んだ協議となりました。特に小学校の意識、受け止めの弱さ、それから幼稚園保育所では、入学後の関与、情報提供の不足といった課題も明確になるなど、昨年度よりも実践的なものになっております。参加者の声は16ページのとおりです。円滑な接続にはまず職員間の研修や相互理解の機会が必要ですので、今後も何度も顔を合わせて距離を縮めていくこと、互いの教育の中身を理解し子どもたちのために何ができるかを考えて実践していくことを大切にして、市教委として引き続き働きかけをしていきたいというふうに考えております。このあと来年3月に合同引継ぎ会がありますが、幼保・小の間では継続して連携の機会を創出、小・中の間ではこれまでの小中一貫の取り組みを継続し質の高いものを目指して参ります。以上です。

○吉田学校給食センター長 はい。資料の17ページです。学校給食1食あたりの単価の状況について説明いたします。上段が小学生で中段が中学生ですけども小学生を例にとって

説明いたします。まず平成26年度のところを見てください。これは給食費を改定した年ですけれども、主食の包装加工料を含めた1食あたりの単価は62円31銭でした。主食のパンとご飯は公益財団法人北海道給食会から、麺類は市内業者から購入しますけれども、平成30年度は66円87銭となり、26年度と比較すると7.32%上昇しております。次に牛乳ですけれども、牛乳の価格は北海道が決めており、平成26年度は39円40銭でしたが、30年度は42円39銭と7.59%上昇しております。次に温食と副食ですけれども、平成26年度は148円34銭で給食1食あたりの単価は250円5銭と据え置いておりますので、主食と牛乳の単価が上昇した分、平成30年度の単価は140円79銭と5.09%下がっております。次に1番下の欄をご覧ください。温食と副食の食材価格の変動指数のところを見ていただきたいのですが、これは使用している115品目を平成26年度を100として毎年ごとの変動指数を表したものです。これを見ますと平成30年度の9月末の指数は115.65となり、これは価格が15.65%上昇しているということになります。これらの数値から現在の給食費の1食あたりの単価の内訳は、主食と牛乳が値上がりした分、温食と副食の単価の比率が少なくなり、さらに食材価格の上昇によって、より実質の単価が少なくなっている状況です。これまでこの価格の上昇分については、食材の選定や献立の工夫によって温食・副食の単価の中で吸収し、給食費については5年間据え置いて来たところであります。ただ、今後も価格の上昇が見込まれ、現行の単価のままで続けると、子どもに必要な栄養を満たす望ましい安定した給食の提供が難しくなることから給食費の改定を平成31年度から実施したいと考えているところです。今後の日程ですが、来週3日(月)に理事者に説明を行い、本日委嘱の承認をいただきました運営委員会を12月13日に開催し教育委員会として諮問を行います。その後来年1月中旬に運営委員会から答申をいただいたうえで教育委員会にお諮りしたいと思います。教育委員会で決定しましたら市議会に情報提供し、31年度の予算審議を経て議決をいただいた後に保護者へお知らせしたいと思います。以上です。

○綿貫図書館長 はい。図書館から1点情報提供させていただきます。お手元の資料をご覧ください。北海道では各管内で研究協議会を持っておりまして、胆振管内でも毎年室蘭や苫小牧、登別などの市町で胆振図書館協議会というのを持っております。今年度は本市が幹事市でありまして、そのための研究会を行います。ヨーロッパ公共図書館からの報告と題しまして、永田治樹先生という、この方は大学で図書館情報学の本を書いている大変

有名な先生ですが、この方をお呼びしまして、ヨーロッパの公共図書館が今どうなっているのかを学ぶ講演会でございます。今回は一般の方にも聞けるような形で公開講演会という形をとるということになっています。毎月1日に委員の方々にお送りしている図書館通信にはこの旨書きましたので、情報提供はいらないかと思いましたが、なかなかこのクラスの先生が来ることはありませんので、改めて情報提供させていただきます。これは全額北海道図書館振興協議会に講師の派遣負担分を出していただきまして、講師の持ち出しはありませんので、有名な方を呼ぶことができました。ここに書いておりますが、オランダとかでは日本には全くない図書館法人というのがありまして、これは学校法人と同じような民間が法人を作って市町が図書館運営しているとか、あと課金制、日本では図書館法第17条で図書館はお金を取ってはだめなのですが、これは法則でもなんでもなくて、日本ではたまたまそう定めているだけでして、オランダではお金をかなり取っています。例えば、オランダの場合ですと、図書館内はタダだけでも、館外に持ち出す場合にはお金を取るとか、あとドイツとかフランスのヨーロッパでは、返却期限が過ぎるとレンタルDVDと同じように1日当たりいくらのような延滞金を取っているのが普通です。あと本を弁償する場合とか、無くした場合には定価の3倍とか4倍とか、かなり高額なお金を取る例とか、あとここにありますが英国のPFI図書館というのは、指定管理ではなくて、企業が図書館を造って市の図書館として運営しているとか、デンマークにあるオープン図書館というのは全くの無人図書館で職員が全くいない図書館です。こうした日本では全く行われていないことが、広く始まっておりまして、この方は専門の方でして、どういうことが起きているのか、それから今北海道の図書館は財政難と人口減少でなかなか図書館が立ち行かないという状況ですので、こういう課金制も今のままでいいのかという議論も起きているので、そういったことを先生をお呼びして胆振図書館協議会を行いますので、もしご都合がよろしいようでしたらご参加いただければと思います。以上です。

○武田教育長 そのほかございませんか。

(「ありません」の声あり)

○武田教育長 それでは一括で説明を受けましたが、ご質疑、ご意見があれば受けたいと思います。何かございませんか。図書館の講演会の定員はどれくらいですか。

○綿貫館長 定員は50人くらいです。まだ空きはあります。今のところ30名程度の申し込みです。

- 武田教育長 素晴らしい先生ということでもったいないですね。社教と連携して聞いてもらったりというところも必要だったり、こういういい先生であればもっと広い会場を確保してもいいのかなと思うので是非次回の企画では。素晴らしいと思います。
- 綿貫館長 分かりました。
- 垣内委員 図書館の運営については、民営化の方向に行っている自治体もあるようですが、館長はどのように感じておられますか。気になっているところです。
- 綿貫館長 直営でなければというのは、硬直した考えなのかなと思っております。
- 垣内委員 ありがとうございます。
- 武田教育長 そのほかありませんか。
- 赤井委員 給食費の来年の消費税の関係は大丈夫なのですか。
- 吉田センター長 消費税につきましては、食材については軽減税率の対象ですので、調味料は10%で軽減税率の対象にはなっていませんけども、微々たるものなので消費税の動きはありません。
- 赤井委員 もう確定しているのですか。
- 武田教育長 いま盛んに検討してます。例えば、コンビニのどこまでを対象にするとか。具体的な品目ごとの議論をしていますから、その方向に行くのではないだろうかということです。
- 赤井委員 はい。分かりました。
- 垣内委員 本当に最近買物をしていまして食材が目に見えて値上がりしているというのが、主婦にとっても大変だなと思っていますので、出していただいたデータというのはこの通りなんだなあとということと、価格改定については致し方ない。ここを改定しないということで逆に子どもの食材の安全・安心とか、先ほどおっしゃっていた栄養価がどうなのかということが脅かされるのは本末転倒だと思いますので、その辺のことを十分考慮した適正な価格を提示していただければと思っています。
- 武田教育長 そのほかございませんか。
- 堅田委員 先日小学校で給食を食べさせていただいたのですが、量的に高学年は足りるのかなと思いましたので、必要な量と質を確保するには致し方ないのかなと感じました。
- 武田教育長 そのほかどうですか。
(「ありません」の声あり)

○武田教育長　それでは終了したいと思います。最後に12月の教育委員会の開催日について予定をしたいと思います。次回開催日について事務局からの方で考えがあればお願いします。

○橋場次長　12月の教育委員会につきまして、20日木曜日はいかがでしょう。

○武田教育長　それでは、事務局より提案のありました12月20日木曜日で皆様のご都合は如何でしょうか。

（「大丈夫」ですの声あり）

○武田教育長　それでは、12月の定例の教育委員会につきましては、12月20日木曜日16時30分から市民会館小会議室で開催することとします。詳細につきましては、後日事務局よりお知らせください。以上で本日の会議を閉会いたします。お疲れ様でした。

議事録の署名

教育長 _____

委員 _____

委員 _____

委員 _____

委員 _____